- 1 次の単項式や多項式は、それぞれ何次式かいいなさい。
 - $(1) \quad -\frac{2}{3}xyz$

(2) $-x^2 + 3xy + y^3$

(3) $\frac{a^4}{6}$

- (4) $a^2b^2-5ab+3$
- 2 次の多項式の項の数と、それぞれの項をいいなさい。
 - (1) 5a 6b 8

(2) $2x^2y - 4xy$

- (3) $-x^3+2x^2-3x+4$
- 3 次の計算をしなさい。
 - $(1) \quad (20x 12y) \times \left(-\frac{1}{4}\right)$
- (2) $2(5a^2+3a-1)$

- (3) $(4m 6n + 2) \div \frac{2}{3}$
- $(4) \quad (5x^2 x) + (x^2 + 2x 3)$
- (5) $(3a^2+7a-9)-(a^2-1)$
- (6) (2m+6n+4)-(3m+8n-5)
- (7) $(6x^2-2x-5)+(3x^2+x-1)$

- 4 次の計算をしなさい。
 - (1) (3x+y)+3(x-2y)

(2) 4(a-2b)+2(2a+3b)

- (3) 4(2a+b)-3(3a+b)
- $(4) \quad 6(x-2y)-3(4x-3y)$
- 5 x = -3, y = 4 のとき、次の式の値を求めなさい。
 - (1) 3x + 2y

(2) -4x-5y

(3) *xy*

- $(4) \quad x^2 xy$
- 6 次の等式を[]内の文字について解きなさい。
- $(1) \quad x 4y = -3 \quad [x]$
- (2) 3x + 2y = 8 [y]
- (3) 2x 6y = -7 [x]
- (4) 4x 5y = 9 [y]

- 7 次の連立方程式を解きなさい。
 - $(1) \quad \begin{cases} 2x y = 7 \\ 3x + y = 8 \end{cases}$

 $\begin{cases} x - 4y = -6 \\ x + 3y = 8 \end{cases}$

$$(3) \begin{cases} -4x + y = 13 \\ 2x + y = 1 \end{cases}$$

8 次の連立方程式を解きなさい。

$$(1) \quad \begin{cases} 2x - 3y = 8 \\ x - 2y = 3 \end{cases}$$

$$(2) \begin{cases} 2x - y = -5 \\ -3x + 2y = 0 \end{cases}$$

$$(3) \begin{cases} 3x + y = -2 \\ 5x + 3y = 6 \end{cases}$$

9 次の連立方程式を解きなさい。

$$(1) \quad \begin{cases} y = 2x \\ 2x + y = 8 \end{cases}$$

$$(2) \begin{cases} 3x - 5y = -3 \\ x = 2y \end{cases}$$

$$\begin{cases}
y = -3x \\
5x + 4y = 7
\end{cases}$$

10	次の計算を	1.72	さい
11 ()	ひいり昇て	レル	C.A.

$$(1) \quad (4x+6y) \div 2$$

(2)
$$(15a - 10b + 5) \div (-5)$$

11 次の計算をしなさい。

(1)
$$18ab \div 6a$$

$$(2) \quad -12xy \div (-3y)$$

$$(3) \quad 6a^2 \div (-3a)$$

(4)
$$(-15x^3) \div 5x^2$$

12 次の計算をしなさい。

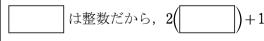
$$(1) \quad 12ab \div \frac{4}{5}a$$

$$(2) \quad -15x^2 \div \frac{5}{3}x$$

13 奇数と偶数の差は奇数になることを、次のように説明しました。 にあてはまるものを入れなさい。

m, n を整数とすると 奇数は , 偶数は 2n

と表される。このとき、これらの差は



は奇数である。

よって、奇数と偶数の差は奇数である。